

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	自主防災組織育成・補助事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	地震等の大規模災害時には市内全域が被災し、市役所や消防だけでは対応が不可能なため、市民に防災意識の高揚を促し自主防災組織を中心とした活動により各地域の被害の軽減を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	自主防災組織	対象とした数	171	組織
		実際に 利用した数	72	組織

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・結成された組織に防災資機材を交付し、地域防災力を強化する。 ・各種訓練の実施促進を図り訓練の補助を行う。 ・防災研修会を開催し防災知識と技術の普及を図る。 							
活動実績	項目名	資機材交付数	12	項目名	各種消防訓練実施回数	59	項目名	防災研修会等実施回数	14
			----- 単位 回			----- 単位 回			----- 単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,191	3,816	3,816	11.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	訓練・研修・救命講習会の実施回数	各種消防訓練及び防災研修会等実施回数／自主防災組織数	171	73	42.7
			----- 単位 回	----- 単位 回	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価 実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了			
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122
事業コード	100309 自主防災組織育成・補助事業					
開始年度	平成 7 年度		—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	無し			地域防災計画、消防組織法				
	関連・類似事業	無し							
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	2節 防災	中柱	3 災害に強い地域づくりの推進	小柱	(1) 自主防災会の充実、強化
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 19 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○					

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	地震等の大規模災害時には市内全域が被災し、市役所や消防だけでは対応が不可能なため、市民に防災意識の高揚を促し自主防災組織を中心とした活動により各地域の被害の軽減を図ることを目的とする。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	自主防災組織		利用数の考え方 各種訓練及び研修会を実施した組織数				
	対象数	単位	平成 18 年度	162	組織	平成 19 年度	171	組織
	対象数	単位	平成 18 年度	35	組織	平成 19 年度	72	組織
	事業の具体的な内容及び実施方法 ・結成された組織に防災資機材を交付し、地域防災力を強化する。 ・各種訓練の実施促進を図り訓練の補助を行う。 ・防災研修会を開催し防災知識と技術の普及を図る。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

平成19年度中に改善した点
切迫性が指摘されている首都直下地震などの大規模地震の発生が危惧される中で、地域住民の共助の重要性を訴えるとともに、自主防災組織の結成促進及び既設の自主防災組織に対し、訓練実施及び資機材の点検等について要請を図ったものである。また、自主防災組織はその機能や活動内容が市各部と関係があることから、関係事務の所管について検討し、一部の事務を危機管理課に移管した。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		1,487	4,191	1,767
	決算 (見込み含む)		1,156	3,816	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.20 人	1,840	0.45 人	0
	公債費				
	事業費合計		2,996	3,816	
	財源内訳	一般財源	2,996	3,816	1,767
		国・県支出金			
		受益者負担金			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	資機材交付数	資機材交付組織数	回	3	12	5
		各種消防訓練実施回数	各種消防訓練実施回数	回	34	59	
		防災研修会等実施回数	防災研修会等実施回数	回	1	14	
	成果分析	訓練・研修・救命講習会の実施回数	各種消防訓練及び防災研修会等実施回数／自主防災組織数	回	目標値 162 実績 35	171 73	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	明らかとなった課題	訓練等、自主防災組織としての活動をまったく実施していない組織もあり、活動促進が課題である。		
	今期目標項目(何を)	自主防災組織の活動促進を図る。	達成水準(どこまで)	訓練等の実施について、啓発活動を積極的にを行い、活動組織数を前年度以上に向上させる。

平成21年度における事業の方向性
総合評価 事業の継続 ⇒ (拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 ())
予算 現状どおり 増額 減額 終了

評価理由
本市が大きな被害を受けると想定される首都直下地震などに備え、現在被害の軽減を図るための様々な取り組みが行なわれている。中でも隣近所や自治会などを単位として組織する自主防災組織は大変重要で、過去の大規模自然災害においてもその活動が被害の軽減や被災後の生活改善、あるいは早い復旧につながっている。このため、本市においても自主防災組織の結成が図られたが、今後は各組織の活動促進と機能向上を目指した訓練等の充実を図る必要がある。

平成20年5月12日 | 記入者職氏名 警防課長 荻野 透

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価日					

⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	182
	施策の体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-2防災体制の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	3271
	基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります		

主要課題 2子育てに快適な環境づくり
施策の方向 7安心して暮らせる環境の整備